

1-41 関東地域の豚ふん配合の混合堆肥複合肥料「エコマスターシリーズ」の製造販売 (片倉コープアグリ株式会社)

○ 片倉コープアグリ株式会社は、関東地域の養豚農家で発生する豚ふん堆肥と化成肥料を配合した混合堆肥複合肥料「エコマスターシリーズ」(有機入りペレット肥料)を製造・販売。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称 ■取組の経緯・内容・成果(見込み)

豚ふん 混合堆肥複合肥料 (エコマスターは現在4銘柄)

■作物 ■保証成分量(%)、特徴等

果菜類、葉菜類、根菜類(水稲は試験中)

シリーズ名	有機質原料割合	N	P	K
エコマスター025	約50%	10	12	5
エコマスター065	約50%	10	6	5
エコマスター855	約60%	8	5	5
エコマスターDd807	約55%	8	10	7

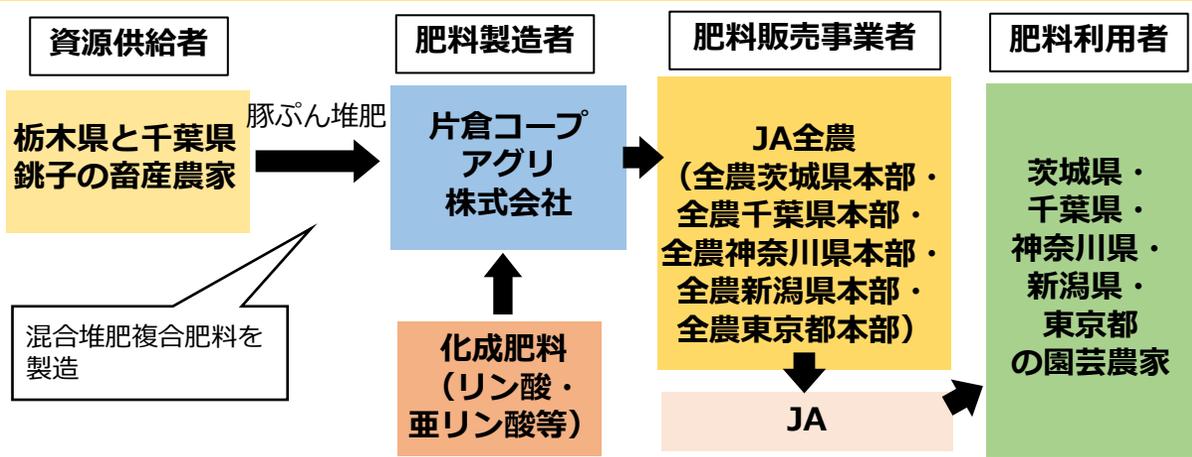
取組の経緯
片倉コープアグリ株式会社は、SDGsを推進するとともに畜産堆肥の利用を図り地域資源循環を目指し、関東で畜産の盛んな地域の豚ふん堆肥を原料に千葉工場で混合堆肥複合肥料を製造。JA全農県本部を通じ千葉県、茨城県、神奈川県、新潟県で販売。

取組の内容
原料となる豚ふん堆肥は、栃木県、千葉県の養豚農家より供給。主な原料納入条件は、①水分30%以下、②窒素は乾物として2.0%以上、リン酸、カリと合わせて5.0%以上になるもの、③敷料、稲わらやもみ殻などの残渣が入っていないもの、④県に特殊肥料届出があるもの、⑤安定して供給できるもの、としている。

成果(見込み)
堆肥を原料にすることで価格面では類似する他の化成肥料より低コストで販売可能。肥効差はほぼなく現地の評価は上々。



■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

- ・現在は豚ふん堆肥が主体であるが、他の畜種堆肥も使用した地域限定銘柄を各地域のニーズにより開発・上市している。関東広域銘柄についても肥料利用者のニーズに合わせて新規の銘柄を開発検討中。
- ・豚熱等家畜疾病により原料供給が途絶するおそれがあり、当該地域の持続的な経営が強く望まれている。
- ・当該肥料は臭気対策が重要。